

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年5月14日(金)

その2

## ◇ 受け止めて つなげる

薫風香る、さわやかな皐月。

22日(土)に開催を予定していた運動会の練習が始まった矢先の7日(金)、菅首相から3度目の「愛知県への緊急事態宣言」発出の声明が出された。緊急事態宣言の発出により、文部科学省基準の感染対策レベル(※学校の新しい生活様式 ver.6)は最上位のレベル3となり、子供たちが楽しみにしていた運動会を延期(6/26を予定)せざるを得なくなった。



今は、「我慢の時」ではない。今は、「現状を受け止め、悲観的にならずに前向きにとらえ、今できることをよく考えて足並みを揃えながら行動する時」である。これが「次につながる」と考える。

10日(月)、全校集会の校長講話で児童に話をした「ポイント」は次のとおり。

- ①5月22日(土)に予定していた運動会を6月26日(土)に延期する。
- ②宣言延長があったとしても、形を変えるなど工夫して運動会は必ず実施する。
- ③これまで感染予防対策の指示をよく聞き、しかも、しっかり全うしてきた。
- ④今やるべきことは、これまでやってきたことを徹底的にやり続けること。
- ⑤今は「辛い時」ではなく、「経験を積む時」。80、90、100年の人の一生の中で、こうした時が1年や2年あってもよい。なぜなら、この経験が後の人生に生きる。
- ⑥しかも、経験する時が学生(道徳を学ぶ時)だから尚よい。現状で、我慢できない大人がいるのは、今の状態を大人になってから初めて経験するからである。学びのない経験は、大失敗しないとなかなか改善されない。
- ⑦最後にもう一度、「今やるべきことは、これまでやってきたことを徹底的にやり続けること」。その姿を見て、家族や周りの人は安心する。そして何より、「経験が人生を支える」。

経験により、コロナ感染対応が「あたりまえ」になった今、大きな苦労はない。そして、経験を積むことで「あたりまえ」は本物に近づいていく。